

別紙 「平成 30 年度 学力向上アクションプラン」

足立区立鹿浜第一小学校 学校長 木村 浩昌

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) <いつまで・何を・どの程度>
1	継続	朝読書	全児童 国語	毎週火水金 始業前 15 分	【指導者体制】 担任 【取り組みのねらい・目的】 ・読書の興味や読書習慣を身に付けさせる。 ・図書を選択する力を養う。 ・読書したことを適用させる。 【指導方法】 ・読み聞かせ、ブックトーク ・テーマ読みやシリーズ読みなど。	1 か月に 1 回、読書感想文やお薦めの読書を発表する。	年齢相応の本を低学年 2500 ページ 中学年 5000 ページ 高学年 10000 ページを目標に読書に取り組ませる。
2	改善	音読・朗読・群読	全児童 国語	隔週木と土 始業前 15 分	【指導者体制】 担任 (学年) 【取り組みのねらい・目的】 ・詩や名文を暗記、暗誦する機会を設け、自国の文化の美しさに触れるとともに、美しい日本語に馴染む習慣を付ける。 ・暗記した詩や名文を群読化し音声表現力の向上を図る。 ・音読、群読の内容を外国語にも広げ、外国語教育や国際理解教育、オリンピック・パラリンピック教育とも関連させ、内容を深めていく。 【指導方法】 ・学習カードを利用した個別指導 ・担任による一斉指導	・各学年にて発表の機会を設け、意欲を高める。 ・感想を文にまとめ、振り返りを行なう。	・各学年にて発表会 ・学級及び学年での暗記、暗誦、群読指導の時間・・・毎月 2 回、年間 20 回 <i>*発表会ありきの音読・群読ではなく、理解力、読解力を高めるための学びの場とする。</i>
3	継続	昼学習 (パワーアップタイム) (プレジデントタイム)	全児童 国語 算数	毎週月火木金 5 時間目前 15 分 (プレジデントタイムは昼休みから始め 30 分)	【指導者体制】 担任・管理職 【取り組みのねらい・目的】 学習内容の復習・確認を行う。 【使用教材】 漢字、計算のプリント学習、ベーシックドリル	・5 月、12 月、2 月の 3 回、テストを実施 ・学力向上委員会による課題分析	テストで正答率 80% が 100% になるようにする。
4	継続	放課後補習教室	全学年 国語・算数の単元	原則会議のない日は毎日。	【指導者体制】 担任+副担任 4 名 【取り組みのねらい・目的】	単元ごとに小テスト、また単元テ	テストで全員が目標値を通過する。

			テストの正答率 70%未満、 宿題未提出者	放課後 16:20 ま で。	<ul style="list-style-type: none"> ・現学年の学習内容のプリントやドリル学習をし、現在学習している内容をきちんと身に付けさせる。 ・宿題が提出できない児童に対しては、その日のうちに放課後指導等で課題を終了させてから下校させる。 	ストの再テスト	
5	改善	サマースクール	全学年 算数②③ 各学年約 10 名程 度。	夏休み期間中の 10 日 各日 50 分	<p>【指導者体制】 担任+副担任 4 名</p> <p>【取り組みのねらい・目的】 つまずきをさかのぼり、演習を中心に個別もしくは少人数指導。進度は各個人で異なるが、復習問題は、期間内に終了するように、1 日に進める目安は伝える。</p> <p>【使用教材】 次へのステップ、ベーシックドリル 担任の少人数指導のもと、進める。過去学年にさかのぼったつまずきをベーシックドリルで確認し、解けなかった問題の解き直しや週の授業内容で理解が完全でない内容の補充問題をを行う。</p> <p>*管理職による個別指導（プレジデントタイム）実施→2、3年生の下位層児童を対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み終了後、確認テストの実施 ・学力向上委員会による課題分析 	夏休み終了後のテストで 全員が目標値を通過す る。
6	継続 一部 改善	教師の指導力向上	若手教員研修会の 実施 ミドルリーダー研 修会の実施 授業観察アドバイ スシート	年間 30 回 年間 10 回 毎月一人当たり 1 回ずつ（10 回×教員数）	<p>【指導者体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員研修（校長、主幹教諭、主任教諭） ・ミドルリーダー研修（副校長、主幹教諭） ・授業観察（校長、副校長） <p>【取り組みのねらい・目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足立スタンダードによる授業をしっかりと定着させる。 ・学習環境を整え授業規律を徹底させることを基本とし、授業に集中できることをあたり前とする。 ・学力調査の結果について詳細を分析し、その具体的な方策をたて、全教員が一丸となり徹底して実践を継続していく。 ・問題解決的な学習を実施し、主体的・対話的で深く学べる学習の機会を増やし、授業を充実させる。 ・授業観察後に管理職からの指導講評を行うとともに、毎回教員に自己評価を行わせ、改善点を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による週の学習計画の確認 ・各研修会時のワークシートの確認と評価 ・授業観察後の「アドバイスシート」内自己評価の確認と評価 	アドバイスシート自己評 価全項目 B 以上